

KOMORO 2

広報こもろ 公民館報

2026
No.712

ごみの減量、その先に

【特集】

日々生活を送る上で必ず出る「ごみ」。今月号は小諸市のごみを特集します。ごみをはじめとする環境課題への取組みは、一人ひとりの心がけがとても大切です。たかがごみ、されどごみ。皆さんにとって、改めて考えるきっかけとなれば幸いです。

【トピックス】

- p.02 【特集】ごみの減量、その先に——
- p.08 「こども誰でも通園制度」
- p.09 「小諸市公共施設予約システム」



小諸市の ごみのこと、 ご存じですか？



【左写真】燃やすごみの収集の様子

小諸市のごみは、お住まいの地区のごみ集積所に出すのが基本となっています。排出されたごみは収集業者によって回収されますが、適正に分別・排出されていないと、不要な労力を費やすことになってしまいます。

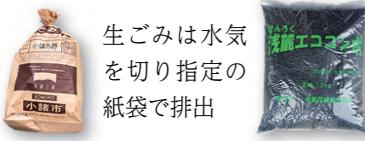
また、ごみ集積所は市内全部で700箇所以上あり、地区の衛生自治会や当番の方を中心に管理いただいている。これらの方々の努力で、綺麗な景観が保たれていることを忘れてはなりません。



小諸市と「生ごみ」

小諸市では昭和53(1978)年から「生ごみ」を分別収集し再資源化しています。現在は浅麓環境施設組合で「浅麓エココンポ」という肥料へ再生しています。

■住所：小諸市甲1845 ☎ 22-7710



生ごみは水気を切り指定の紙袋で排出

肥料は予約のうえ、受け取ることができます



▲小諸市「ごみ・資源収集カレンダー」



◆細かいごみの分別方法は「ごみサク」での検索が便利です。

になりかねません。クリーンヒルこもろは市民の大事な財産であり、ごみの減量を進めることができ、この財産を守るために大切になります。

ごみの減量には、一人ひとりの意識が重要です。「出してしまえば関係ない」ではなく「出す前に一度考えて実行すること」が、必要とされています。

「燃やすごみ」はパッカー車で菱野区のごみ処理施設「クリーンヒルこもろ」に運搬後、焼却処理されます。しかし、ごみが多い状況は焼却炉へ負担が掛かり、結果として施設の耐用年数を縮めること

ごみの中で一番多いのが、家庭から出る「燃やすごみ」です。令和6年度は5,007トン（家庭ごみのみ）排出されており、コロナ禍をピークに排出量は減少傾向にあります。しかし、依然として高い数値で推移しています。

「燃やすごみ」はパッカー車で菱野区のごみ処理施設「クリーンヒルこもろ」に運搬後、焼却処理されます。しかし、ごみが多い状況は焼却炉へ負担が掛かり、結果として施設の耐用年数を縮めること

日々の生活で、必ず排出される「ごみ」。普段は何気なく捨てている方が多いかもしれません。小諸市のごみの分別は細かいと言われています。いったい何種類あるかご存じでしょうか？実は全部で13区分に分類され、市民の皆さんに協力をいただいています。

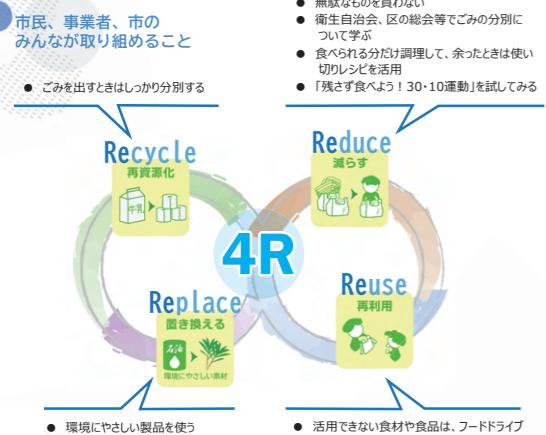
細かく分別する理由はいくつもあります。資源の有効活用（リサイクル・再資源化）と環境保護、そして焼却施設などの長寿命化が主な理由で、「ごみを「資源」と捉え、持続可能な社会を目指していくことを目的としているためです。

全部のごみの分別を間違えずに捨てるのは簡単なことではありません。しかし、捨てる前に一人ひとりがもう一度「これは何ごみになるのかな？」と考えることで、循環型のまちづくりにつながります。



みんなで取り組めること

第2次小諸市ごみ処理基本計画から抜粋



【写真】

①ごみ組成調査の様子。手作業でごみ袋の中身を確認しています。②クリーンヒルこもろのごみピット内部。ごみの排出量が増加するとピットを逼迫し、処理が追いつかなくなることもあります。③日々の作業員の収集で、地域の美化が保たれています。④クリーンヒルこもろでは剪定枝をチップにし、無料で配布しています。

ごみの適正処理はゼロカーボンとなががっている
ごみが減るとクリーンヒルこもろで消費するエネルギーを削減でき、温室効果ガスの排出も抑制できます。

燃やすごみは燃やさない
現在「プラスチック製容器包装」として分別回収しているプラスチック製品について、分別方法をもっと分かりやすくし、資源化することを目指しています。

食品ロスを削減する
食べ残し等による食品ロスの増加も顕著です。食べ残し等の削減は、誰でも日頃からできる取り組みです。

燃やすごみの中の「使える資源」を分別する
令和6年3月、第2次小諸市ごみ処理基本計画を策定しました。小諸市のごみ処理の課題と目指す方針が示されています。そのため、その一部をご紹介します。

4月1日製造分のごみ袋から ごみ袋の名称が変わります

燃やすごみ
▼
燃やすしかないごみ

※分別変更ではありません



「燃やすごみ」の袋の中身のうち、適正に排出された割合

令和7年度 組成調査結果 61.1%

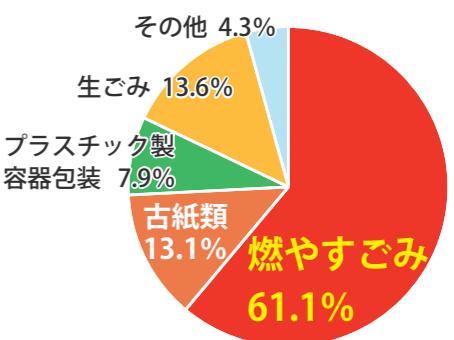
古紙類がきちんと分別・排出された場合、小諸市にもたらす利益(年間)

約 3,100 万円

小諸市では、組成調査(正しくごみが分別・排出されているかを確認する調査)を毎年行っています。令和7年の調査の結果、燃やすごみ指定袋の中に、資源としてリサイクルできるものが約40%も含まれました。特にここ数年、古紙類の割合が増加しています。まずは燃やすごみの減量から意識してみませんか？

資源として売却すると
約830万円の収入

焼却費用として
約2,300万円の処理経費



市区・耳取区・森山区

ごみ減量モデル地区に指定



【写真】左から小林区長(耳取区)、荻原区長(市区)、塩川区長(森山区)

令和7年6月に市内の三岡地区(市区・耳取区・森山区)をごみ減量モデル地区に指定しました。同地区は、市の出前講座を活用した学習会や、クリーンヒルこもろなどの見学を行ってきました。また燃やすごみ減量を進めため、専用の古紙回収袋を地区内全戸に配布しました。

▶ 古紙類を排出するときは、ココを □ チェック



小さめの紙は、紙袋に入れて排出すると便利！



バラバラにならないよう、紙紐で十文字にしばって排出！



折り込みチラシは、新聞と一緒に出してOK！



資源回収やスーパー等の回収ボックスもご利用ください！



衛生自治会は、市内全員で386名の委員がとも活動しています。特に苦労していることは、ルール違反のごみの対応です。転入の方や自治会に未加入の方は、ごみ出しルールを知らない方もいらっしゃるかもしれません。しかしごみの排出と処理は「身近な市民協同」として、皆さんが主体的に取り組む必要があると考えています。クリーンヒルこもろは建設費が約22億円、運営委託費が約30億円かかっています。焼却コスト削減や長寿命化は市民の方全員の共通課題として、これからもごみの分別・減量を進めていきたいと思います。

03 小諸市衛生自治会 会長
原 桂一 さん



【写真】①整理された綺麗な集積所の例。②排出ルールが守られないと、他の方に迷惑がかかってしまいます。

アドバイザーはクリーンヒルこもろの供用開始に先立ち、平成27年から組織されました。施設を長く大切に使っていくために、現在10名のアドバイザーが、市民目線から分別・減量に関わる啓発活動を行っています。ごみの減量は行政の主導だけでは実現できません。個人個人の心がけがどうしても必要となってきます。少しずくを出して、ごみを資源に変えられるよう、これからも実践・提案していきたいと考えています。



▲小学校の環境学習やイベントでもアドバイザーは活躍しています。



04 小諸市
ごみ減量アドバイザー
木内 洋子 さん

ごみと向き合う方々の声 みんなで考え実践したい



01 浅麓工業企業組合 専務
清水 洋介 さん



ごみの収集をする際にどうしてもトラブルは付きものですが、最近多いのは“リチウムイオン電池による発火”です。おもちゃなどに付属の電池がパッカー車内でプレスされると、そのまま発火・火災が発生し、人命にも関わるため、非常に危険です。その他にも、「パッカー車が回収した後のごみの後出し」や「古紙類を紙ひもで縛らずに排出」などの事例も見受けられます。分別、排出日、排出時間などについて、ごみカレンダーなどで今一度ご確認いただけますと幸いです。

個人個人の配慮・行動で、効率よく作業・処理を進めることができます。ぜひこれからもご協力をお願いいたします。



02 クリーンヒルこもろ 所長
中屋 嘉智 さん



日頃からごみの適切な分別・排出にご協力いただき感謝いたします。施設で特に多いトラブルは「プラスチック製容器包装」への異物混入です。作業員が手作業で選別を進めていますが、インスリンの注射針やガラス片が混入していることがあります。手に刺さる可能性もあり大変危険です。安全のためにも、適正な分別・排出にご協力をお願いします。また直接搬入の際もルールをご確認の上、ご協力をお願いいたします。クリーンヒルこもろは今年で供用開始から11年目を迎えた。家庭から排出されるごみを減らしつつ、これからも施設を大切に利用していただけると嬉しいです。

小諸市の皆さんへ送る ごみ減量アドバイザーの ごみ減量大作戦！



01 冷蔵庫を整理する日を作る

食品口を減らすため、買い物に行く前に冷蔵庫の中身をチェック！カレーやお鍋は余った食材で調理ができるとっても便利！

02 生ごみは水に濡らさない

水分が多い生ごみ。シンクの三角コーナーではなく、外に置いて水気を切ることでごみの重量を減らせます。

03 燃やすごみ袋の横に、古紙袋を設置

ついで燃やすごみに入れてしまいがちな古紙類。燃やすごみの指定袋の横に古紙回収袋を置くことで、分別が簡単にできるようになります。



第12期 ごみ減量アドバイザー 募集します

小諸市のごみ減量について、一緒に考える仲間を募集中です！

- ▶任 期 R8/4/1 ~ R10/3/31 (2年間)
- ▶内 容 養成講座の受講、アドバイザーミーティングへの出席
出前講座の講師、啓発資料の作成、啓発活動への参加等
- ▶費 用 報奨金・費用弁償あり
- ▶申 込 3/13(金)までに小諸市HP掲載の応募用紙で申込み
問 生活環境課 ごみ減量推進係

